

# 「地域学校の協働と次代につなぐ地域づくり」

— 学習支援活動を通して —

津 島 市

## 1 事業のねらい

市内4中学校の内、神守中と天王中の2校が、学習習慣の定着と学力向上を目的に地域未来塾事業に取り組んでいる。既に神守中では7年前から取り組んでいるため、天王中の今年度のスタートに指導・助言をして、情報交換をしながら運営している。

## 2 事業計画

### (1) 開催方法等一覧

実施校名	神守中学校		天王中学校
運営団体	神守中学校地域学校協働本部		天王中学校 地域学校協働本部
開始年度	平成22年度	平成23年度	平成28年度
開催曜日	土曜日	月曜日	土曜日
ねらい	受験対策を中心とした学習指導支援（面接・作文も対応）	自学自習の形態の中で分からないところを聞いたり、学習する習慣を身に着けたりする学習指導支援	受験対策を中心とした学習指導支援（面接・作文も対応）
通称	ドテラ（土曜寺子屋）	月テラ（月曜寺子屋）	ござてん（Goes天王）
開催回数	10月～3月の20回	10月～2月の10回	10月～3月の15回
開催日	10月8, 15, 22, 29日 11月5, 12, 19日 12月3, 10, 17日 1月7, 14, 21, 28日 2月4, 11, 18, 25日 3月4, 11日（お別れ会）	10月24日 11月7, 14日 12月12, 19日 1月16, 23, 30日 2月6, 27日	10月22, 29日 11月12, 19日 12月3, 10, 17日 1月7, 14, 21, 28日 2月4, 18, 25日 3月4日
開催時間	午前9時30分～午前11時30分	午後3時～午後5時	午前9時30分～午前11時30分
対象学年	中学校3年生	中学校1～3年生	中学校3年生
開催場所	神守中図書室	神守中進路指導室	天王中普通教室
生徒数	14名	15名（1年7, 2年7, 3年1）	6名
退職教員数	3名	5名	0名
大学生等ボランティア数	15名	3名	10名
運営地域ボランティア数	2名	3名	4名
卒業生ボランティア（再掲）	3名	3名	5名
参加生徒保護者数	2名	3名	1名
指導形態	1対生徒1～2名の指導	1対生徒2～3名の指導	1対生徒1～2名の指導
ボランティア交通費	一部支給	一部支給	一部支給
ボランティア謝礼	回数に応じて図書カード*	回数に応じて図書カード*	回数に応じて図書カード*

### (2) 指導者及び支援者

学習会は、地域学校協働本部のボランティアや保護者が中心に運営し、生徒への学習指導は、校区をはじめ、県内各地から応募した大学生ボランティアや退職教員が当たっている。とりわけ、大学生ボランティアについては、市教委で一括募集し、各校のニーズに応じて派遣をする形で対応している。12月現在、県内21大学55名が登録している。

### (3) その他

両校とも、生徒・保護者・ボランティア・本部との連絡を密にするため、生徒個人ファイルを使用し、生徒の振り返り・学習内容・指導状況・アドバイス・保護者のコメントを相互に書き込みながら、信頼関係を重視している。コーディネーターはカギの管理を兼ねて、支援状況の把握や生徒のニーズとボランティアとのマッチングを行い、目的達成に寄与している。また、安全管理面から、出欠席の確認を確実に電話連絡等で実施している。なお、生徒募集や保護者の見学・体験は、随時受け入れている。

### 3 事業の実際

天王中は、今年度からの実施に向け、運営について5月から会議を重ね、会場の清掃作業をはじめ、地域スタッフによる入念な準備の末の開催に至った。スタートして、日によ



【「ござてん」の様子】

っては、大学生ボランティアの確保に苦慮したが、周囲の協力を得てスムーズに運営することができた。両校の取組は、ほぼマンツーマンの指導で、生徒の意欲喚起と学力の向上に非常に役立っている。どちらも約半数の生徒が通塾しているが、初めて体験する生徒には新鮮で、分かりやすいと好評である。大学生ボランティアの大半が、他校での経験を生かして、生徒のニーズに応える術を心得ており、運営スタッフも感謝している。

神守中は7年間の継続的な取組から、安定した運営が行われている。「月テラ」参加生徒の8割が成績向上したと、取組に関わる者のモチベーションアップにもつながっている。

### 4 成果と今後の課題

生徒からは、「学校では聞けなかった問題を教えてもらって、分かるようになった」「苦手な所をどう勉強していけばいいのか、少しずつ分かってきた」などの感想、保護者からは、「子どもが1週間分の授業で分からない所に付箋を付けて持って行くようになった」「少しずつ自信がついたと思う」「楽しんで、帰ってきた」「教えてもらった事を、自宅でも取り組んでいる様子がみられるようになった」など、感謝の言葉が多くみられた。また、我が子の前向きな態度への変化に、今後の永続的な取組を望む声が多く聞かれる。

大学生ボランティアからは、「どうしたら分かってもらえるのか、教え方の勉強になるから楽しい」「教えるのは難しいけれど、分かってもらえた時は嬉しい」「何より自分も勉強になるのと一緒に勉強できるのが楽しい」との声が多い。

退職教員は、「心地良い刺激があり、大学生との交流も楽しい」との感想をもつ。

学校の先生方は、授業では学習意欲があまり見られない生徒が、「ドテラ」では集中して取り組んでおり、授業での生徒の様子によい変化が出てきたことを実感している。また、「勉強が楽しくなった」との生徒の声もあって学校側に好評である。

運営スタッフは、本当に勉強しなくてはいけない生徒や、塾に通えない生徒がまだいるのではないかを気にしている。学校と連携はとっているが、個人情報の問題や家庭の事情もあり難しい。今後、方策を探っていきたい。

これまで取り組んできたような学習支援を継続する必要性を強く感じるが、そのためには、大学生ボランティアやスタッフの継続的な確保が必須である。そうした状況のなかで、大学生ボランティアの中に神守中・天王中の卒業生が増えてきたことが何より嬉しい。この循環が、いつまでも続くことを望んでいる。